



1. 総会・理事会

- 1) 通常総会……令和6年5月8日(水) 15:00 ~ 17:00
KKRホテル東京 会場/瑞宝の間(10F)
総会后、令和5年度賛助新入会員5社からのプレゼン
交流会……… KKRホテル東京 会場/孔雀の間(11F)
- 2) 理事会……… 第1回 / 令和6年5月8日(水) KKRホテル東京
(予定) 第2回 / 令和6年6月18日(火) シェア会議室小伝馬町
第3回 / 令和6年12月12日(木) KKRホテル東京
第4回 / 令和7年4月中旬 都内会議室



令和6年度(2024) 事業計画(案)



2. 研究・情報交換・交流事業

1) 展示会への出展

当協議会が「協賛」する「FOOD展2024(惣菜・デリカJAPAN 2024)」へ野菜流通カット協議会として出展参加を行う
 ◆ 令和6年10月9日(水) ~ 11日(金) …… 東京ビックサイト 東ホール



通常総会




通常総会後の交流会




FOOD展協議会ブース

2) 研修会の開催

① 海外研修会……「2024アメリカ西海岸現地研修ツアー」の実施
 ◆ 令和6年10月下旬(予定) 
 アメリカ西海岸(サンフランシスコ~パークレー~サリナス~ロスアンゼルス)を中心に、カット野菜工場、野菜・青果等の卸会社、野菜圃場、特長の異なる各食品スーパーなどを視察・意見交換実施予定




韓国現地研修ツアー

② 国内研修会……視察予定先：高知県須崎市管内
 ① 青果卸売市場視察と管内の果菜類圃場視察・意見交換会
 ② 高知県IOP活用のスマート農業実践圃場視察・意見交換会
 ◆ 令和6年12月(予定) 




韓国現地研修ツアー

③ A全農との個別商談会(情報交換会)の実施
 会員間(実需者、JAグループ)でのマッチング機会の提供のため、申込会員と全農県本部(経済連等含む)との個別での対面商談を東京会場と大阪会場で実施予定
 ① 東京会場: 大手町JAビル会議室…令和6年8月(予定) 
 ② 大阪会場: JA全農青果センター会議室…令和6年8月(予定)




国内研修会(於:JA鹿追町)

④ 協議会主催のセミナー・現地検討会等の開催
 高知県IOPを活用したスマート農業温室視察と加工・業務用野菜品種開発等に関するセミナー開催(高知市内管内)
 ◆ 令和6年11月(予定) 




JA全農との個別商談会

⑤ 加工・業務用野菜の情報交換会セミナーの開催
 「惣菜・デリカJAPAN2024」会場内でのセミナー・意見交換会
 ◆ 令和6年10月10日(木) …… 東京ビックサイト 東ホールセミナー会場内 





情報交換会セミナー



⑥ 農林水産省との意見交換会の実施

- ① 加工・業務用関連の次年度以降の補助事業への政策要望を踏まえた意見交換を、当協議会会員と本省 農産局 園芸流通加工対策室および農政局を交えて、関西地区で実施する
 ◆ 令和6年11月(実施予定) …… 会場: 新大阪駅付近を予定
- ② 加工・業務用関連の次年度以降の補助事業への政策要望を踏まえた意見交換を、当協議会会員等と本省 農産局 園芸流通加工対策室との間で実施する
 ◆ 令和6年12月12日(木) KKRホテル東京 

3. 調査事業

- ① カット野菜・カットフルーツ製品の消費者向け販売に伴う、加工年月日表示に関する調査委員会の設立および事業推進の実施 
- ② 関係省庁・関係団体と連携し、情報収集を行い会員へ適時提供する関係行政機関、関係諸団体等からの情報収集の実施 
- ③ 日本施設園芸協会主催の「令和7年度 園芸関係政府予算案等説明会」への参加
 ◆ 令和7年1月31日(金) 赤坂スターゲートプラザB1F Room A

4. その他

- ① 本協議会のホームページの継続したメンテナンスを行い、協議会活動内容に関係機関・関係者等へ広く発信する 
- ② 本協議会の会員募集を積極的に展開する 
- ③ 野菜流通カット協議会が主催するセミナー・現地検討会等の事業推進を適切に実施する



事業成果発表会



情報交換会セミナー



農林水産省との意見交換会(大阪)



農林水産省との意見交換会(東京)



農林水産省との意見交換会(東京)



意見交換後の交流会



青果物の量り売り実証試験(大阪)



青果量り売り 生消にWin-Win



青果物の量り売り実証試験(東京)

「野菜流通カット協議会」入会のご案内



国産野菜の振興のために、一緒に取り組みませんか？

平成27年(2015)5月に新たに誕生しました野菜流通カット協議会の会員として皆様にご入会いただき、国産野菜生産の振興及び流通の効率化、安全性及び品質の確保・向上、消費の拡大等を図るため、共に活動して参りたいと存じます。

入会に際しては、別紙「野菜流通カット協議会会員入会申込書」に必要事項をご記入の上、協議会事務局(一般社団法人 日本施設園芸協会)まで、郵送にてお送り下さい。

本会の会費は、**1会員 12万円/年額**



◆令和5年度「小売における量り売りの実施可能性及び加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドラインに係る調査分析委託事業」報告書

令和5年度は、野菜流通カット協議会事務局である一般社団法人日本施設園芸協会が農林水産省の助成を受けて、本委託事業においては、「青果物量り売り検討委員会」と「ガイドライン策定検討委員会」の2つの検討委員会を設けて、食料・農業・農村基本法の見直しの方向を踏まえた調査を実施し、令和5年度の活動内容を「調査分析委託事業報告書」にとりまとめ配布しています。

* 主な掲載内容は以下のとおり

- ◆ 小売店における量り売りの意向調査
- ◆ 青果物の量り売り実証試験の実施
 - ・まいどエコーロゼ富田林店(関西/中規模小売店)
 - ・やさいや金次郎(関東/小規模小売店)
- ◆ 青果物の量り売り実証試験中における消費者調査の実施
 - ・まいどエコーロゼ富田林店
 - ・やさいや金次郎
 - ・小売店における量り売りの実施可能性ヒアリング記録
- ◆ 加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2023(青果物主要13品目)
- ◆ 事業成果発表会の開催
 - ……等々



◆加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2023(青果物主要13品目)

野菜流通カット協議会において、2020年9月発行済みの「加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2020」の内容を見直し、さらに近年の取引状況を反映し、皆様の実際の取引にご活用いただけるよう、掲載内容は農林水産省が選定した加工・業務用野菜の重点7品目(ブロッコリー・たまねぎ・にんじん・えだまめ・ほうれんそう・かぼちゃ・ねぎ)に加え、主要6品目(トマト・だいこん・キャベツ・きゅうり・レタス・はくさい)合計13品目の用途毎に求められる品質・規格・留意点等について、品目毎に纏められたものを掲載しています。



◆「冷凍野菜産地事例集」

令和4年度補助事業の中で、令和5年3月に発行した、「冷凍野菜産地事例集」は、加工・業務用野菜の原料生産から加工・販売まで一貫した取り組みを行っている全国6カ所の事例を取り上げ、産地の概況、取組みの経緯、製品の状況、加工・出荷の状況、今後の計画・展望などで構成した内容を紹介しています。



◆「水田利用の園芸作物転換技術導入事例集」

令和3年度補助事業の中で、平成27年(2015)に発行した、「水田利用(転作・裏作)の野菜栽培優良取組事例」の続編として作成を行い、今回紹介する7事例はそれぞれ抱える課題は異なりますが、地域の特色を生かし、様々な技術を取り入れながら、関係機関連携のもと産地化の取組みを推進している事例を紹介しています。



◆令和4年度における「カット野菜製造の実態」

加工・業務用野菜の需要拡大が続く中で、当協議会において、カット野菜製造の実態を明らかにするため、平成2年から3年に1回の頻度で実施しているアンケート調査を令和4年度における「カット野菜製造の実態」として実施し、その調査結果をとりまとめ、令和6年4月より発行・販売しています。

【定価: 1,000円(税込)】



◆ 農林水産省補助事業の中で過去作成した加工・業務用関連マニュアルも多数ありますのでご参照いただければ幸いです。過去のマニュアルや各年度毎に実施しました、セミナーテキストなども当協議会のホームページに掲載していますのでご活用ください。

■ お問い合わせについて

野菜流通カット協議会 事務局

【住所】東京都中央区東日本橋 3-6-17 山一ビル4F
一般社団法人 日本施設園芸協会内

【TEL】03-3667-1631 【FAX】03-3667-1632



野菜流通カット協議会

URL: <https://www.vedica.jp>



令和6年(2024)6月発行

令和6年(2024)度版



野菜流通カット 協議会

Vegetables Distribution and Cutting Association

■ 野菜流通カット協議会について

近年、野菜の需要形態は、家計消費用から加工・業務用へ大きくシフトしています。このような情勢の中で、時代の要請に応えるべく、農林水産省のご指導の下、平成27年(2015)5月に従来の青果物カット事業協議会と野菜ビジネス協議会の両協議会を統合して、新たに「野菜流通カット協議会」を設立いたしました。本協議会は、青果物の流通・加工事業関連業界の健全な発展に資することを目的として、加工・業務用野菜を中心とする青果物の生産者との共生を図りつつ、その生産の振興及び流通の効率化、安全性及び品質の確保・向上、消費の拡大等を図るため、必要な調査研究、指導、情報活動等に関する事業を行っています。

特に、平成27年度からは継続して、野菜流通カット協議会が農林水産省の加工・業務用国産野菜等の安定供給を図るため補助事業の事業実施主体となり、加工・業務用国産野菜サプライチェーン構築に積極的に関わっています。

さらに本協議会では、青果物の需要形態の変化等に対応した我が国における青果物の新たな生産・流通・貯蔵システムのあるべき姿について調査・研究を重ね、得られた成果を農林水産省へ政策提言等を行い、予算等に反映していただくような活動も引き続き行っています。

事務局は一般社団法人日本施設園芸協会内にあります。



木村 会長

■ 活動内容について

- 加工・業務用野菜等青果物の生産、流通、加工等に関する調査研究
- 加工・業務用野菜等青果物に関する基準の策定及びその普及指導
- 加工・業務用野菜等青果物に関する情報の収集及び提供
- 加工・業務用野菜等青果物の生産の振興及び流通の効率化等に関する事業の実施
- その他協議会の目的を達成するために必要な事業



■ 会員

会員企業 68社

(有)アグリ・サポート・(株)旭物産・(株)アド・ワン・ファーム・(株)伊藤食品・ヴァイルモランみかど(株)・(有)エーアンドエス・大阪八百勝・(株)尾野農園・カゴメアグリフレッシュ(株)・(有)かねやま・(株)関東ダイエツクック・京葱SAMURAI(株)・倉敷青果(株)・(株)クリハラ・(株)ケーアイ・フレッシュアクセス・(株)K PRODUCE・(株)健食・(株)五條市青ネギ生産組合・こと京都(株)・(株)サカタのタネ・(有)佐賀東部青果・サトウ産業(株)・サンポー食品(株)・(株)サンロジスティクス海洋・(有)四位農園・(株)庄定・(株)須崎青果・(株)誠孝・(株)清野野菜普及研究所・全国農業協同組合連合会・(株)大果・田形青果(株)・タキイ種苗(株)・(株)T & E・デリカフーズホールディングス(株)・東果大阪(株)・東京シティ青果(株)・デロイト・マツリススクアドバイザリー(合)・(株)トップ・ラン・(有)トップリバー・ナラサキ産業(株)・成田食品(株)・(株)浜松ベジタブル・(株)ハローワーク・(株)ひらた・(有)ひるがのラファノス・フードプロセス(株)・(株)ふくれん・(株)フルックス・(株)フレッシュおの・(株)フレッシュベジ加工・(株)ベイ・コマース・(株)ベジアークス・(有)ベッツ・(株)豊彩・(株)北研・(株)前川博之商店・(株)マルト商事・丸西産業(株)・(株)マルマサフード・宮崎県経済農業協同組合連合会・ミyajifoods(株)・(株)武蔵野種苗園・ユアサ商事(株)・(株)ユーキフーズ・横浜丸中青果(株)・(株)RAG東京・(株)和郷

準会員 3社

全国農業協同組合連合会(長野県本部・茨城県本部)・香川県農業協同組合

賛助会員 31社

(株)インダ・イフコ・ジャパン(株)・AGSN・(一社)APL Japan・NTTビジネスソリューションズ(株)・ENZA ZADEN 川口精機(株)・(株)グローバルヒューマニー・テック・ゲンゼ(株)・興人フィルム&ケミカルズ(株)・小嶺機械(株)・セイカン(株)・(株)大生・大和フード&アグリ(株)・(株)寺岡精工・日建リース工業(株)・(一社)日本料飲外国人雇用協会・(株)日本農業新聞・のむら産業(株)・日立造船(株)・BIPROGY(株)・細田工業(株)・ホリアキ(株)・(株)マクランサ・三浦工業(株)・三菱ケミカルアクア・ソリューションズ(株)・ミヤマーユニティ・吉泉産業(株)・ライオンハイジーン(株)・(株)流通研究所・(株)ワコーパレット

